

## 平成 23 年春版の主な変更点

平成 23 年 6 月

平成 23 年 6 月版の主な内容及び改良点は以下の通りです。

### 歩掛の更新

土木工事 (A コード) ⇒積算基準 (黄色本) 記載分のみ 23 年度歩掛

土地改良工事 (B コード) ⇒23 年度歩掛

機械設備工事 (G コード) ⇒23 年度歩掛

その他の工種は 22 年度歩掛のままです

### 単価の更新

積算資料単価 (S コード) ⇒23 年 4 月号単価

県発表資材単価 (P コード) ⇒23 年 4 月発表単価

機械損料 (M コード) ⇒23 年度単価

(注 1) 22 年度の歩掛で積算する場合は「単価検索システム」の「歩掛年度」を「2210-10」にしてください。

(注 2) 「歩掛年度」を「2210-10」にすると、機械損料 (M コード) も 22 年度単価になります。(機械損料だけは「単価年度」ではなく「歩掛年度」に連動しています)

### 歩掛の主な変更点

1. 10 t 積ダンブトラックの積載量が 10 t から 9.5 t に変更。(A-1-1-9 他)
2. かご工のバックホウの排気ガス対策型が 1 次から 2 次に変更。(A-2-23・B-2-1))
3. 土地改良・ネットフェンス撤去工の歩掛新設。(B-2-47)
4. 土地改良・道路工・砂利舗装工の歩掛変更。(B-8-6)
5. 土地改良・コンクリート補修工の歩掛新設。(B-13)
6. その他

### 機能の追加

1. 未完成行 (数量・単価に 0 がある場合) を反転表示させることができます。この機能を使うと、見積もり落しを防ぐことができます。操作方法是設計書画面を開いて「メニューバー」→「表示」→「未完成内容を含む行を反転表示」をクリックします。
2. 代価表の諸雑費で端数調整 (丸め) 行を一括して削除できるようになりました。土木工事では有効数字 4 桁で丸めるために端数調整 (丸め) 行があります。そのために土地改良工事や水道工事の積算で土木 (A コード) の代価表を使用した場合、端数調整 (丸め) 行を削除する必要がありましたが、この機能で積算終了後に一括して削除するこ

とができます。設計書画面の「メニューバー」→「編集」→「全ての代価の丸め計算  
行を削除する」をクリックします。

3. 代価表の歩掛数量を小数点以下 3 桁にすることができます。日当り施工量を使って歩  
掛を計算する場合、通常は小数点以下 2 桁が一般的ですが、役所によっては 3 桁の場  
合があります。設計書画面の「メニューバー」→「表示」→「代価表の数量を小数点 3  
桁で表示」をクリックします。

#### 地区の変更

県発表データの地区が下記の通り変更になりましたのでご注意ください。

- 山形県：6 大峠は単価設定が無くなり、大峠地区は 5 米沢の単価採用となります。
  - 茨城県：18 筑西 A は生コン単価が、18 筑西 A-1、19 筑西 A-2 の 2 地区に分かれます。
  - 新潟県：新発田、南魚沼、柏崎、上越の適用地区が変更となり、それぞれ 1 地区追加  
されます。県の発表に順番を合わせ、三条、長岡、上越の各地区の並び順が変わりま  
す。
  - 静岡県：静岡 215 の名称が富士 215 に変更となります。
  - 愛知県：西三河（Ⅰ）と（Ⅱ）の適用地区が変更となり西三河（Ⅲ）が追加となりま  
す。
  - 和歌山県：県の発表に順番を合わせ、23 近露が前の順番に変わります。
  - 広島県：地区名が次の通り変わります。広島→西部、芸北→安芸太田、尾三→三原、  
福山→東部、備北→北部
- 熊本県：阿蘇 1 の適用地区が変更となり阿蘇 4 が追加となります。